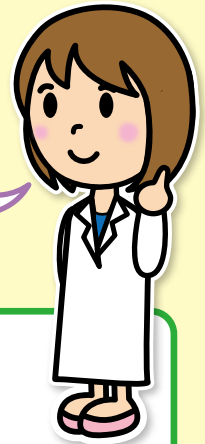




子どもたちの甲状腺にはどう影響しているの？

甲状腺については、原発事故当時から現在まで検査や調査が行われています。現地原子力災害対策本部では、小児への健康影響を把握するため事故直後に小児甲状腺スクリーニング調査を実施しました。



### 内部被ばくによる甲状腺の等価線量

日時：2011/03/12 06:00 ~ 2011/03/24 00:00の積算値

領域：92km×92km

核種名：ヨウ素合計

対象年齢：1歳児

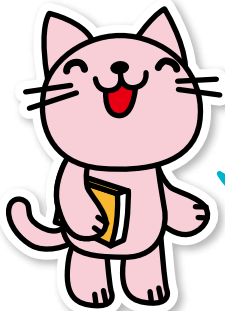
### 凡例

線量等値線 [ミリシーベルト]

- 1 : 10000
- 2 : 5000
- 3 : 1000
- 4 : 500
- 5 : 100

SPEEDIを活用した試算結果と小児甲状腺スクリーニング調査の場所と実施日

(出典)復興庁「放射線リスクに関する基礎的情報」より



2011年3月24日~30日にかけて、いわき市・川俣町・飯舘村において小児を対象に甲状腺の簡易測定を行ったところ、調査対象となった1,080人が、原子力安全委員会がスクリーニングレベル※1としている毎時0.2マイクロシーベルトを下回っていたよ。

※1：スクリーニングレベルとは、放射性ヨウ素による甲状腺等価線量が100mSvを超えない値のことを言います。

甲状腺に集まりやすいヨウ素131は半減期が8日なので早期に消失しています。現在でも初期の被ばく線量の再評価がされています。例えばヨウ素129などの計測をしています。

